



非常食や離乳食を試食する親子連れら

## 育児と防災 教訓共有 マフェスタ

### 大船渡

大船渡市のNPO法人こそだてシップ（伊藤怜子代表）は8日、同市大船渡町のおおふなぼーとで防災ママフェスタを開催した。東日本大震災の教訓を生かし、災害時に子どもたちを守るための知恵や工夫を発信した。

市内外の親子連れらが来

場。非常食と離乳食の試食、災害時のアウトドア用衣類の活用法を紹介する講座などが行われ、来場者は楽しみながら緊急時への備えに関心を高めた。

長女はれちゃん（1）と訪れた陸前高田市高田町の市職員永山智絵さん（31）は「震災の時は子どもがいなかったため、今後災害が発生したときに一緒に逃げる心構えを考える機会にした」と意識を新たにしたい。

同フェスタは2016年に始まり4回目。伊藤代表（76）は「普段から育児と防災を連動させて考えてもらいたい」と呼び掛けた。